

第 2 回

STORY A

学習日 月 日

Are you from Australia?

きみはオーストラリア出身なの？

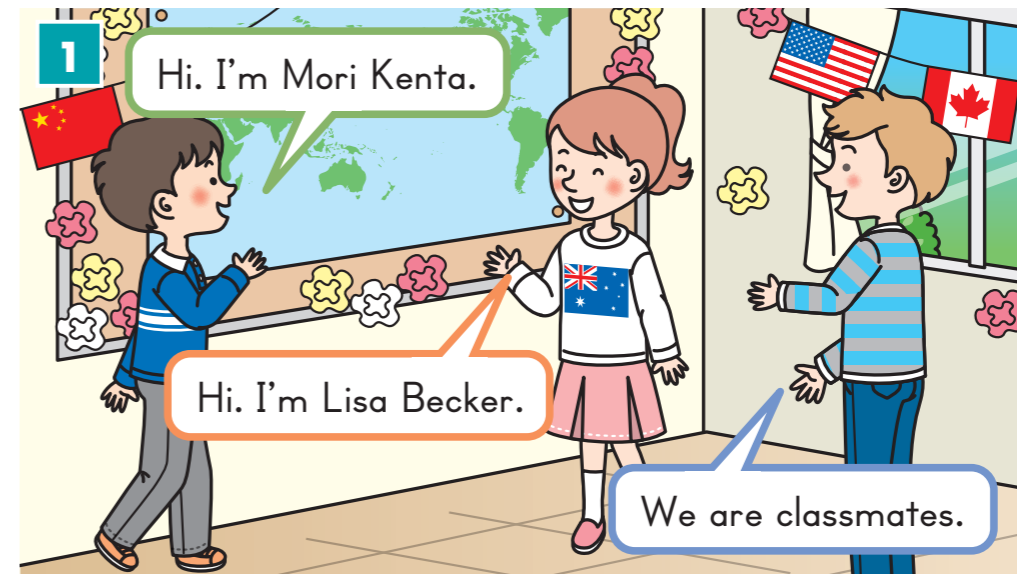
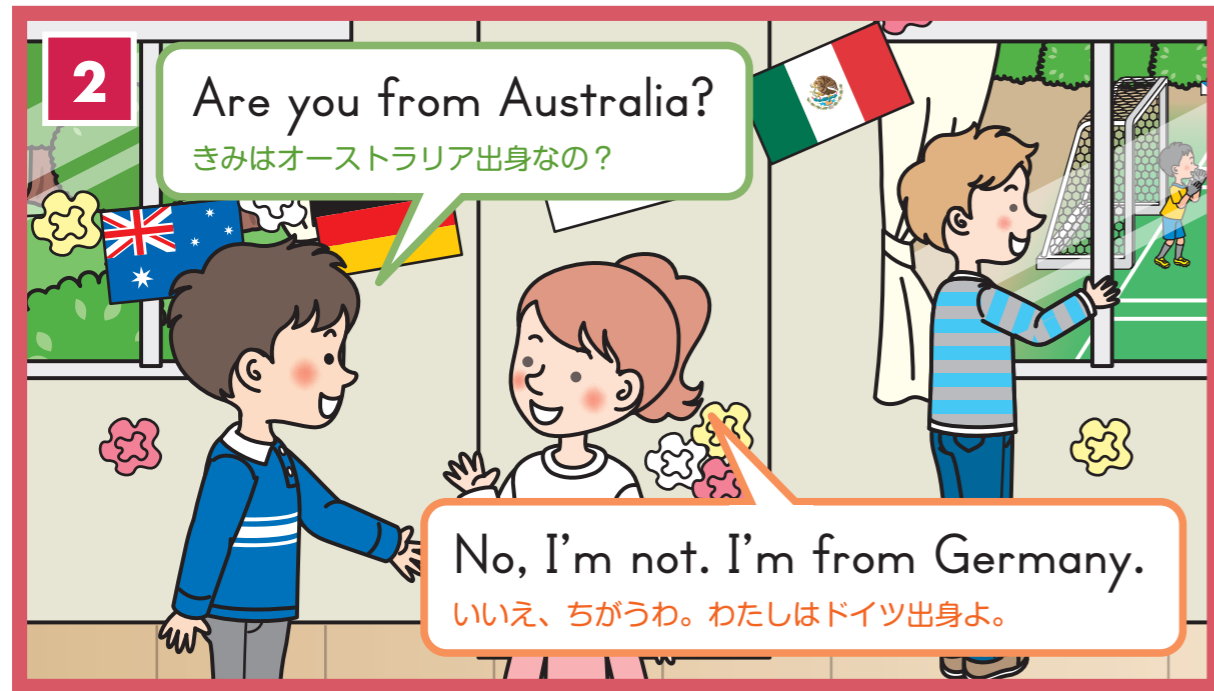
学習時間



STORY A を聞こう



もう一度聞く



STORYは1から始まるよ。



WORDS [単語]

今回の目標 国の名前を3つ言えるようになる。

聞いて、発音しよう



Australia

Germany

Mexico

オーストラリア

2つ目のaを強く発音するよ。このaは、アルファベットのaと同じ発音だよ。



ドイツ

日本語では「ドイツ」と言うけれど、英語ではこのように言うよ。



メキシコ

eを強く発音しよう。



国の名前を書くときは、大文字で書き始めるよ。



リズムに合わせて、発音練習をしよう。



STORY A をもう一度聞きたいときは、音声19を聞いてね。

問題 【英語】

答えと考え方

てんさく問題

SENTENCES 【文】 Are you + from + 国の名前？

今回の目標 出身地をたずねたり、答えたりしよう。

聞いて、発音しよう

日本語では「あなたは／オーストラリア／出身ですか？」という順番で言うけれど、英語では下のように言うよ。日本語と、どこがちがうかな？

あなたは～ですか ～の出身 オーストラリア

Are you from Australia?

ポイント 1

Are you 「あなたは～ですか」で文を始める。

are 「です」のあとに、you 「あなたは」を続けた形の Are you で文を始めると、「あなたは～ですか？」と質問する文になるよ。

Are you from Australia?

「あなたはオーストラリア出身ですか？」

ポイント 2

<from + 国の名前>を続ける。

from は「～の出身」という意味だよ。

Are you from Mexico?

「あなたはメキシコ出身ですか？」

ポイント 3

Are you ～?には、yesかnoを使って答える。

yes や no のあとにはカンマ (,) を書こう。

Yes, I am. 「はい、そうです。」

No, I'm not. 「いいえ、そうではありません。」

Iとmの間に、アポストロフィ(')を書こう。

ココも大切!

No, I'm not.と答えるときは、ストーリーでリサが言ったように、そのあとにI'm fromを使って、自分の出身地を伝えてあげよう。

リズムにのせて、発音練習をしよう。



書いてみよう

1. 国の名前を英語で書いてみよう。



① 「オーストラリア」という単語をなぞってみよう。そのあと、くり返し書いてみよう。



Australia Australia

② 「ドイツ」という単語をなぞってみよう。そのあと、くり返し書いてみよう。



Germany Germany

③ 「メキシコ」という単語をなぞってみよう。そのあと、くり返し書いてみよう。



Mexico Mexico

2. 出身地をたずねたり、答えたりする文を練習しよう。



① うすい文字をなぞって、文を完成させよう。

質問する文の終わりには、クエスチョンマーク(?)を書こう。



Are you from Australia?

文の最初の文字は大文字で始めるよ。

② うすい文字をなぞって、文を完成させよう。

カンマ(,)を書こう。



No, I'm not. I'm from Germany.

国の名前はいつも大文字で書き始めるよ。

③ 「あなたはメキシコ出身なの？」とたずねる文を書こう。



②のI'mは、I「わたしは」、「ぼくは」とam「～です」を1つにまとめたものだよ。「わたしは」、「ぼくは」を表すIはいつも大文字で書こう。